

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、
 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている」

項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている	→

（注）令和3年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、総じて需要が堅調であるものの、輸送機械で半導体不足による供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	→
生産活動	持ち直している	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	↘
雇用情勢	一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	→

設備投資	2年度は前年度を下回る見込み	3年度は前年度を下回る見込み	→
企業収益	2年度は減益見込み	3年度は増益見込み	↗
企業の景況感	「下降」超に転じる	「下降」超幅は拡大	→
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る	↗
輸出	前年を下回る	前年を上回る	↗

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

ホームセンター販売、ドラッグストア販売は、家庭用品・日用消耗品などで前年の特需の反動がみられることから、前年を下回っている。百貨店販売は衣料品などで、コンビニエンスストア販売は食料品などで売上げが伸びており、前年を上回っているものの、来店客数が感染症拡大前の水準に戻っていないなど、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。家電販売は、白物家電などが好調なことから、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、軽乗用車が好調であり、前年を上回っている。これらのことなどから、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

（主なヒアリング結果）

- 木材、塗料などのDIY関連商品は、需要の一服と木材価格の上昇で売れ行きが落ちてきているものの、全体では売上げ・客数ともに例年並みに戻ってきている。（ホームセンター）
- 前年と比べると、売上げや来店客数ともに減少しているが、衛生志向や巣ごもり需要により、衛生用品や飲食料品などが好調なことから、例年と比べると高水準になっている。（ドラッグストア）
- 感染症拡大前より来店客数は落ちているが、カジュアルウェアや高級家具が好調なほか、旅行の自粛などによる代替消費として、美術品の売上げが伸びている。（百貨店）
- 緊急事態宣言解除後は観光地周辺の店舗でも人出が戻ってきており、感染症拡大前の水準には届かないが、総菜やデザートが引き続き好調で、回復基調が続いている。（コンビニエンスストア）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年は来店客数が大幅に減少していたことから、受注、販売台数ともに反動増がみられる。半導体不足により一部納期に遅れが出ているが、新型車の受注状況は好調となっている。（自動車販売）
- 団体が宴会などで利用する店舗などは、足下でも売上げが低迷した状態が続いているが、ワクチン接種の進行により、高齢者の先行接種の効果で一部店舗では高齢者の利用の回復がみられている。（飲食）

■ 生産活動 「供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている」

化学は、食品包装材や半導体製造装置の部材向けなどで需要が堅調であることから、増加している。電気機械は、スマートフォンや車載向けなどで需要が堅調であることから、増加している。鉄鋼は、自動車や建設機械向けなどで需要が持ち直していることから、増加している。一方、輸送機械は、自動車において、世界的な半導体不足の影響により弱い動きがみられることから、減少している。汎用・生産用・業務用機械は、火力発電向けなどで需要に弱い動きがみられることから、足下では減少している。このように、生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

- 外出自粛に伴う巣ごもり需要により、食品包装材向けの需要が堅調なほか、半導体需要の高まりにより、半導体製造装置の部材向けなどの需要も堅調であることから、定期修理などの設備の制約を除けばフル生産となっている。（化学）
- 5G（第5世代移動通信システム）に関連して、スマートフォンや基地局向けで需要が堅調なほか、車載向けについても堅調な需要を維持しており、高操業での生産となっている。（電気機械）
- 自動車向けを中心に、建設機械や建築資材向けなど、多くの品目で需要が回復しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の生産水準まで戻ってきているものの、自動車の半導体不足による需要減少が今後の懸念材料となっている。（鉄鋼）
- 世界的な半導体不足の影響を受け、半導体を使用する部品の調達に支障が出る見込みとなったことから、部品の調達状況に応じて生産調整を行っている。（自動車）
- 火力発電向けなどの需要が減少していることから、操業度が低下している。（汎用機械）

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

新規求人数は前年を上回っているものの、有効求人倍率は新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準と比べて低水準で推移しているなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

- 新工場棟を昨年4月に50名体制でスタートしているが、継続的に新卒・中途採用を行い、400名を配置させる計画である。（電気機械）
- 客数の減少により休館している旅館も多いものの、雇用調整助成金を利用していることから、解雇を行うとまでの声は聞かない。また、足下では週末の客足に回復がみられるところもある。（宿泊）
- 来春、再来春の新卒採用は、新型コロナウイルス感染症の影響による先行き不透明感から採用予定数を未定とするなど、慎重な見方の企業が多い。（人材派遣・紹介）

■ 設備投資 「3年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4-6月期

- 製造業では、「情報通信機械」、「石油・石炭」などで減少するものの、「自動車」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「運輸・郵便」、「農林水産」などで増加するものの、「電気・ガス・水道」、「金融・保険」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 新型車対応のための設備投資。(自動車)
- 前年度の営業店建て替えによる投資の反動。(金融・保険)

■ 企業収益 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4-6月期

- 製造業では、「石油・石炭」、「鉄鋼」などで増益となるものの、「化学」、「生産用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「建設」、「運輸・郵便」などで減益となるものの、「小売」、「医療・教育」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅は拡大」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4-6月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、給与住宅が減少しているものの、分譲住宅、持家などが増加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 管内通関実績(円ベース)でみると、輸出は、船舶が減少しているものの、自動車、化学製品などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中南米で減少しているものの、アジア、北米などで増加している。

なお、輸入は、原油及び粗油、鉄鉱石などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中東などで増加している。

3. 各県の総括判断

	前回(3年4月判断)	今回(3年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
鳥取県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。
島根県	一部に感染症の影響が残るものの、生産面では改善がみられる	一部に感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は感染症の影響が残るものの、復調の動きが続いており、生産活動も持ち直しつつある。また、雇用情勢は感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直しつつある。
岡山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられ、弱含んでいる。
広島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
山口県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。